

MOVIE TANK 研究室

～ ムビタンをより使いやすくしよう！ ～

MENU

[MOVIE TANKとは](#)

[ムビタン改 \(1号機\)](#)

[ムビタンキューブ \(2号機\)](#)

[ACアダプタの交換](#)

[CFカードから起動](#)

[ムビタンBBS](#)

[TOP](#)

ムビタン改 (1号機)

ムビタン改 (1号機) の製作工程をご紹介します。
HDDのリムーバブル化を目的としています。

パーツ一覧

パーツ	パーツ名
基板	挑戦者 MOVIE TANK
ケース	KEIAN CF-S668EPM
リムーバブルケース	ラトックシステム (株) IDE-MDK1
HDD	日立 HDS722525VLAT80 250GB
その他	アルミ板、プラスチック板、ネジ類

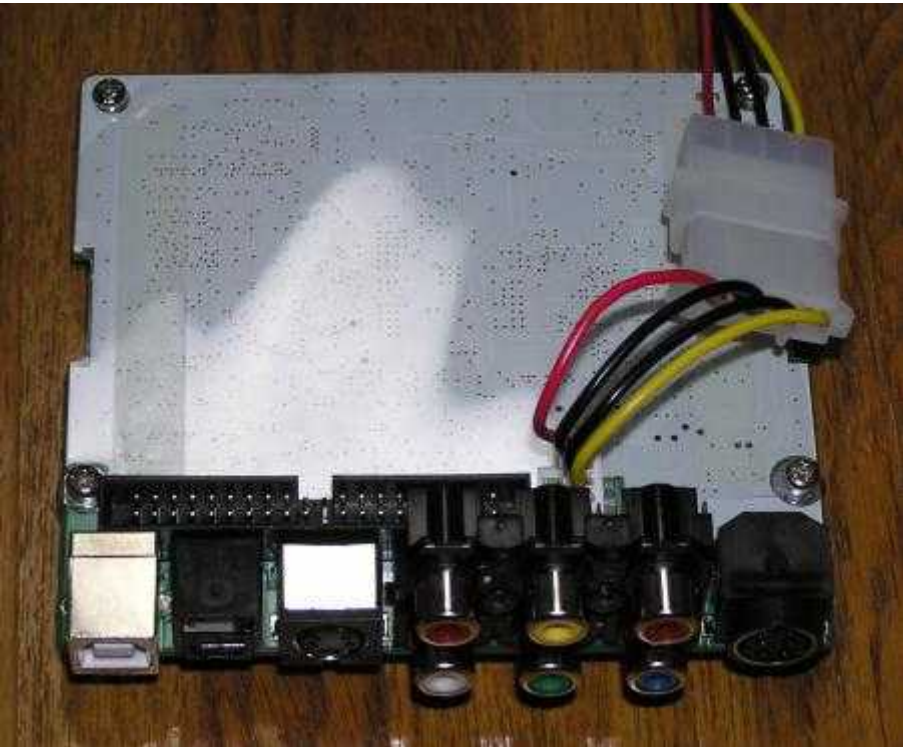
製作

図1



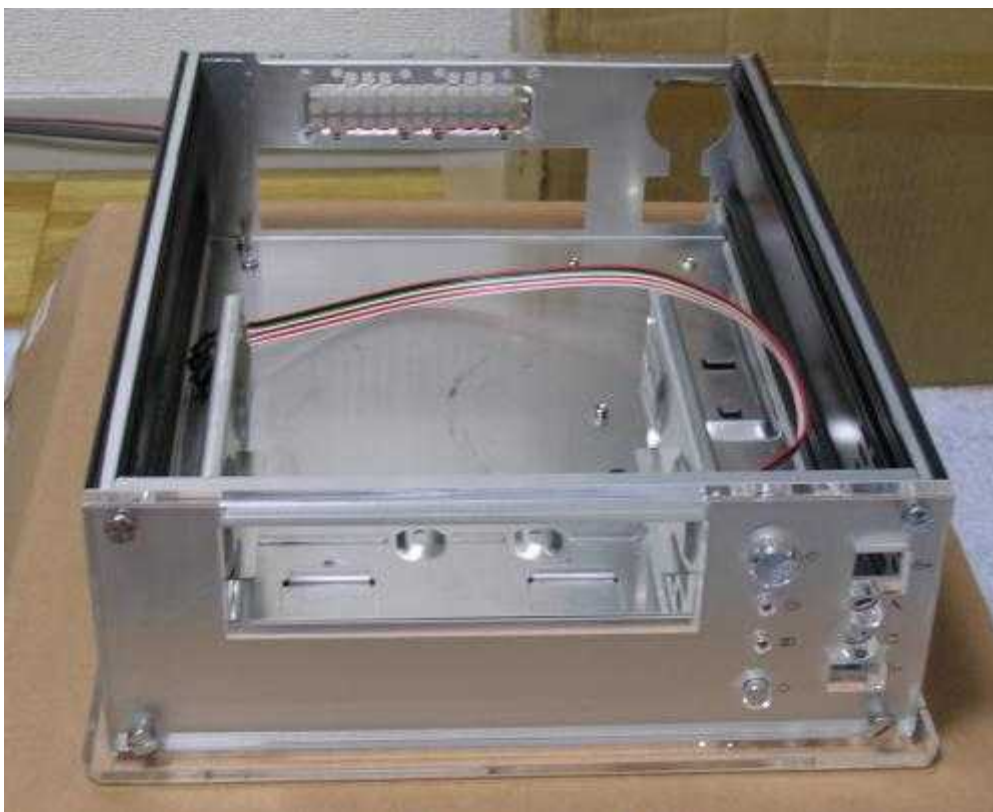
MOVIE TANK本体です。
これを分解して基板を取出します。意外と簡単です。

図2



これが基板です。
この他に、LED表示部分の基板があります。

図3



基板組込み前のケースです。
余計な電源、ファン、USB・オーディオポートは外しました。

図4



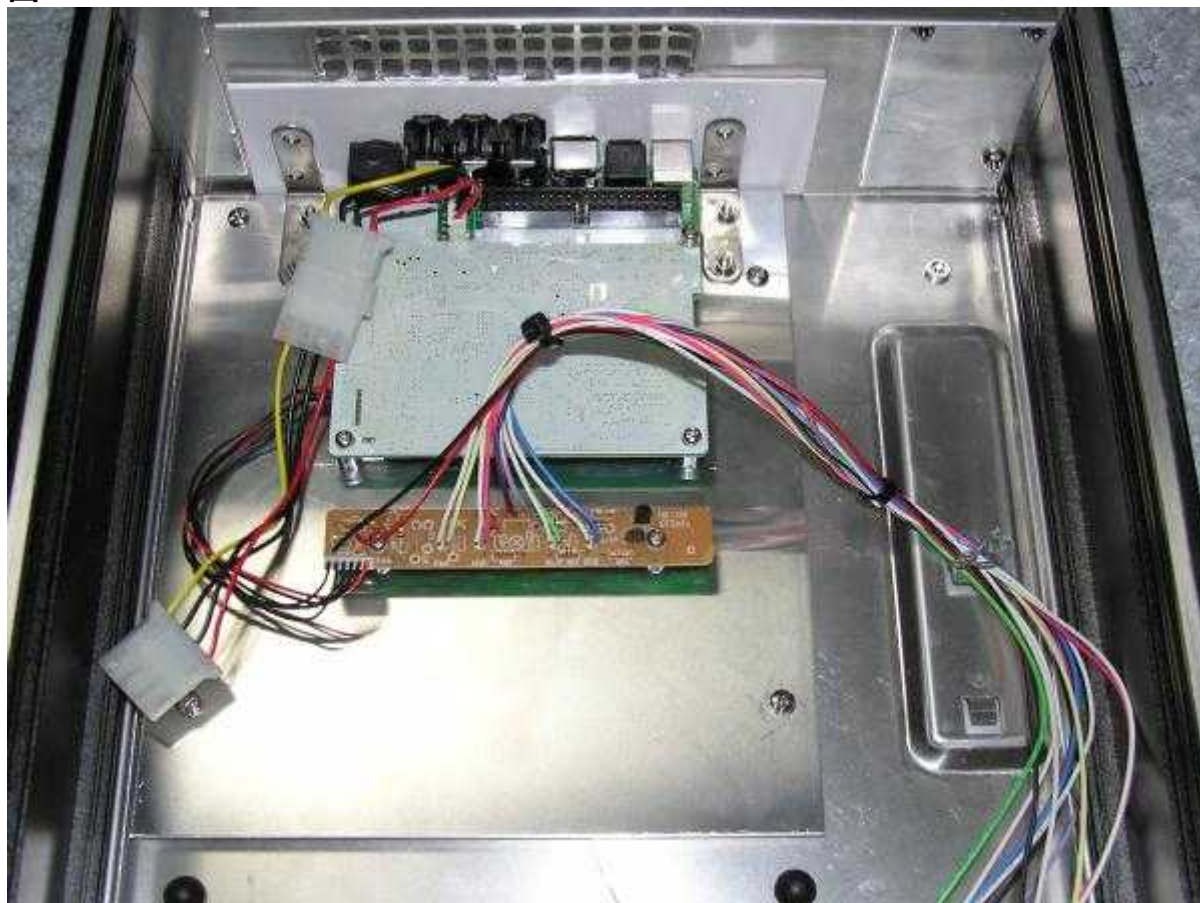
基板を取付けるアルミベースとリアパネルです。(自作)

図5



基板部分を組立てた状態

図6



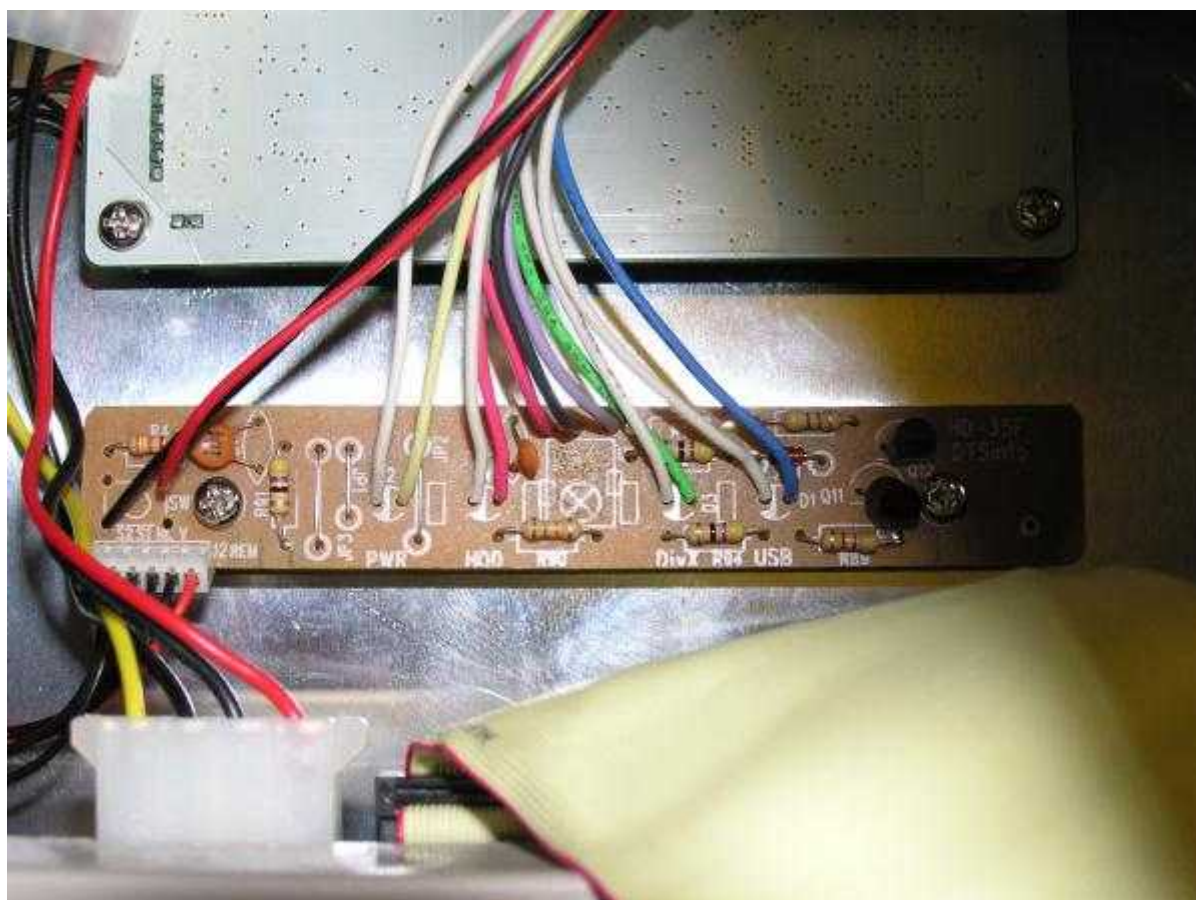
ケースに基板部を取付けた状態

図7



リムバーブルアダプタを取付けて完成です。

図8



LED表示基板アップ
基板から電源スイッチ、LED、リモコン受光部を外し
その部分に電線をハンダ付けしてフロントパネルの
スイッチ、LED、受光素子へ配線しています。

図9



フロントパネル
右側にあったUSB、オーディオ端子部分を利用して
リモコン受光部、モード表示用LEDを追加しています。

図10



リアパネル
電源部分はアルミ板を取付け、端子部はプラスチック板を
使用しています。(端子部の穴位置を決めるのは大変でした)

使用感

リムーバブル化によりUSBでファイル転送を行わなくてすみ
MOVIE TANK改よりHDDを抜いて、メインPCへ差込むことにより
HDD間の転送速度でファイル移動が行えるようになりました。
また、HDDの交換が簡単に出来るようになったので
バックアップを取ったり、複数のHDDを使用することが出来るようになりました。
(ただし、ホットスワップには対応していません。)

Copyright 2005 Takuwan